

研究・研修報告書

3 研修会関係付

4.10.21

令和4年10月21日

小牧市議会議長 様

会派名 無会派

代表者氏名 谷田貝 将典

研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員

谷田貝 将典

2 日程

令和4年10月19日(水)～令和4年10月20日(木)

3 研究・研修名

第17回全国市議会議長会研修フォーラム

4 主催者

全国市議会議長会

5 会場

ホクト文化ホール

6 受講の目的

市議会において、デジタルの更なる推進のため。

7 主な内容

専門家、先進地市議会より講演、パネルディスカッション等

8 所感・提言・課題等

※長野市長、横浜市会議長、長野市議会議長より挨拶

※基調講演

(株)日本共創プラットフォーム代表取締役社長 富山 和彦

・みちのりホールディングス：路線バスをデジタルで管理し、誰も乗らない時間帯や路線など分析し無駄がないように変える。運転手の運転の仕方も分析。運転が荒い、気遣いがないなど、ドラレコを含め調べ指導すると事故が減る。赤字が黒字になる。(IC

カードなどデジタルで管理し黒字にすること)

※パネルディスカッション

コーディネーター 人羅 格 (毎日新聞社論説委員)

長野市議会議長 寺沢 さゆり

・コロナによりデジタル化が進んだ。議会で格差ができた。データでは委員会オンラインも開催していないところが82.6%とまだまだ多い。タブレットは、51.9%と進んでいる。ICT化も86.1%と進んでいるが、まだフル活用までには到っていない。住民への伝達や、投票率アップへどのようにつなげていくかが課題。

早稲田大学電子政府・自治体研究所教授 岩崎 尚子

・電子政府について世界中を調査。デジタル人材の育成が大切。SDGsセミナーで市民志向のリアルなデータを分析している。AI/5Gで、第5世代デジタルガバメントに向け、高齢者等が取り残されないように進めていかなければならない。2040年の日本社会をイメージし対策をたてる。地方議会はデジタル人材が少ない。リアルとバーチャルのバランス。議会DXの予算確保。